

2016 年度 第 4 回 鋼構造運営委員会 議事録

1. 日時 平成 29 年 3 月 15 日(月) 13 時 00 分～16 時 00 分
2. 場所 建築会館
3. 出席者 五十嵐規矩夫, 一戸康生, 井戸田秀樹, 岡崎太一郎, 岡本哲美, 兼光知
(敬称略) 巳, 木村祥裕, 向野聡彦, 下川弘海, 田川泰久, 田中 剛, 津田恵吾,
寺田岳彦, 成原弘之, 平島岳夫, 増田浩志, 見波 進, 宇佐美徹(記録)
欠席:多田元英, 越智健之, 笠井和彦, 澤本佳和, 竹内 徹, 中込忠男,
原田幸博, 西山 功, 緑川光正

4. 配付資料

- 04-01 2016 年度第 4 回鋼構造運営委員会議事予定(多田主査代理:井戸田幹事)
- 04-02 2016 年度第 3 回鋼構造運営委員会議事録(案)(宇佐美)
- 04-03 構造本委員会の動き(多田主査代理:井戸田幹事)
- 04-04 鋼構造座屈小委員会(井戸田幹事)
- 04-05 鋼構造接合設計小委員会(増田委員)
- 04-06 鋼構造耐火設計小委員会(平島委員)
- 04-07 鋼構造環境小委員会(兼光委員)
- 04-08 鋼構造素材小委員会(見波委員)
- 04-09 鋼構造塑性設計小委員会(五十嵐委員)
- 04-10 鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会(岡崎委員)
- 04-11 鋼構造設計規準改定小委員会(田川委員)
- 04-12 各種アンカーボルト設計 WG(田川委員)
- 04-13 2017 年度大会 PD 検討資料(多田主査代理:井戸田幹事)
- 04-14 鋼構造運営委員会重点審議資料(田川委員)
- 04-15 質疑回答の一覧(井戸田幹事)
- 04-16 2016 年度小委員会活動成果報告(多田主査代理:井戸田幹事)
- 04-17 2017 年度小委員会予算原案について(井戸田幹事)
- 04-18 プログラム編成会議の鋼構造部門の参加依頼者(井戸田幹事)
- 04-19 重点審議計画資料(井戸田幹事)

5. 議事内容

- (1) 資料 04-02 に基づき前回議事録の確認を行い, 承認された.
- (2) 資料 04-03 に基づき井戸田幹事より構造本委員会の動きについて説明がなされた.
- ・ 鋼構造 PD は希望通りの最終日(4 日目)の午前に決定.
 - ・ 日々のプログラムは 10:00～18:00 になる.
 - ・ 論文集委員会委員に多賀謙蔵先生(神戸大学)が推薦された.
 - ・ 技術報告集委員会委員に宇佐美(竹中工務店)が推薦された.
 - ・ 災害委員会委員に五十嵐委員(東工大)が推薦された.
 - ・ 大会プログラム編成委員の人選結果を 4 月 5 日までに伏見さんに報告すること.
 - ・ 鋼構造耐火設計指針の査読意見と対応が報告され, 刊行に向けて先に進めること

が承認された。

- ・ 来年度の委員長裁量経費について、「鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会」に引き続き使用することが、次期委員長(塩原先生)から示された。
- ・ 今年度末で廃止される小委員会・WGのオンラインストレージ内のファイルは消去されるので、必要なファイルは3月24日までに抽出されたい。
- ・ 以下の小委員委員の委嘱・解嘱が承認された。

鋼構造環境小委員会	解嘱：木村衛氏
鋼構造塑性設計小委員会	委嘱：中野達也先生
鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会	解嘱：田川泰久先生

(3) 資料 04-04~04-12 に基づき各担当委員より小委員会、WG の報告がなされた。

座屈小委員会(資料 04-04, 井戸田幹事)

- ・ 本委員会査読結果に対する回答について説明がなされた。
- ・ 座屈小委員会だけの課題ではない指摘もあったので、今後機会を見て運営委員会で検討する。
- ・ スケジュールは、本委員会承認後に脱稿を6月、刊行・講習会を12月に予定している。
- ・ 次年度からの主査は木村委員，幹事は金尾委員。

接合小委員会(資料 04-05, 増田委員)

- ・ 「鋼構造柱脚設計施工ガイドブック」の講習会を2/24(東京), 3/1(大阪)で実施し，参加者はいずれも100%を超えた。今後，質疑の対応をする。
- ・ 次年度からの主査は山田委員，幹事は中野委員。

耐火設計小委員会(資料 04-06, 平島委員)

- ・ 講習会は6/5に東京で開催予定。
- ・ 初稿を確認し，4月末までに編集を終える予定である。
- ・ 小委員会では次期への送り事項を検討した。
- ・ 主査を尾崎委員に交代し，以後運営委員会に出席してもらう。小委員会は来年度から2年ほど休止し，2019年度より再開する。

環境小委員会(資料 04-07, 兼光委員)

- ・ 損傷に留意した設計や五輪を契機に架設構造物に関する情報収集をした。
- ・ 成果の海外発信として，ASCE への投稿を検討している。

素材小委員会(資料 04-08, 見波委員)

- ・ 高温時特性，残量応力の影響，接合部特性への影響を検討した。
 - 以前，高強度材の高温時特性のデータはないと聞いていたがあるのか？
 - 一般に公開されているデータであり存在する。
- ・ 鋳鉄検討WGの活動内容の報告があった。
- ・ 溶材やボルトの外国材のデータがあり，どのような差があるか分かるという。

塑性設計小委員会(資料 04-09, 五十嵐委員)

- ・ 塑性指針の講習会は2/23(東京), 3/2(名古屋), 3/8(大阪)で開催し，概ね定員を確保した。
- ・ 委員の交代として，高松委員を解嘱し，山西委員を委嘱したい。
 - 運営委員会承認。事務局に次回本委員会の附議の連絡をすること。

鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会(資料 04-10, 岡崎委員代理)

- ・ 接合設計指針は3月末で英文化終了の予定。5月には運営委員会査読に移行する。

- ・ S 規準は、ネイティブチェック後、再度修正をした。
- ・ DL 版は委員の負担が多いので、今後は出版としたい。
→接合部設計指針と次期 S 規準を合本して出版してはどうか。
→多田主査に相談のこと。

鋼構造設計規準改定小委員会(資料 04-11, 田川委員)

- ・ 活動報告がなされた。

各種アンカーボルト設計 WG (資料 04-12, 田川委員)

- ・ 4 月末の WG で金属系アンカーの粗原稿がまとまる。以後、接着系アンカーの作業に取り掛かる。
- (4) 資料 04-13 に基づき井戸田幹事より 2017 年度大会 PD について説明がなされた。
- ・ PD の打合せに必要な旅費は運営委員会で負担する。
→運営委員会承認。
- (5) 資料 04-14 に基づき重点審議として田川委員より S 規準改定小委員会の活動経過(これまでの審議内容)について説明がなされた。
- ・ 今後は原稿作成と用語の統一を実施し、2017 年度内に査読に入り、2019 年初の刊行を予定している。
 - ・ 改定により図が大幅に変更され、初心者にはわかりやすくなり、頁も減る。
 - ・ 座屈補剛は解説にあるが補剛力だけが示されている。
 - ・ 「T 継手で板厚 6 mm 以下の鋼板を隅肉溶接で接合する場合は、隅肉のサイズを…板厚の 1.5 倍…まで増すことができる」と「前面隅肉の許容耐力」については変えない。前面隅肉に関しては解説に耐力が現行より高い旨を記述する。
 - ・ 高強度鋼に関してはあらゆる項目に適合するか調べきれないので見送る。
- (6) 資料 04-15 に基づき井戸田幹事より、学会図書の質疑回答状況について確認がなされた。
- (7) 資料 04-16 に基づき井戸田幹事より各小委員会の 2016 年度活動成果報告について確認がなされた。
- (8) 資料 04-17 に基づき井戸田幹事より鋼構造運営委員会予算原案について説明がなされた。
- (9) 資料 04-18 に基づき井戸田幹事よりプログラム編成会議の鋼構造部門の参加依頼者について説明がなされた。
- (10) 資料 04-19 に基づき次回重点審議について議論がなされ、鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会に決まった。
- (11) 委員の委嘱
解嘱:寺田委員, 増田委員, 平島委員
委嘱:山田委員, 尾崎委員

6. その他

- ・ 今後の重点審議は次の通り。
◇ 2017 年度第 1 回運営委員会:鋼構造関連規準・指針の英文化小委員会
- ・ 次回の運営委員会の日時, 場所は以下の通り。
第 1 回 2017 年 5 月 22 日(月), 13:30-17:00, 於:建築会館